

最終処分場機能検査者資格認定試験 受験要領

最終処分場機能検査者資格認定委員会

最終処分場機能検査者資格認定試験は、『最終処分場の機能』を客観的に診断できる検査者の技術向上、最終処分場の機能維持の確保を図ることを目的として実施するものです。

この試験の合格者は、所定の手続きを行うことによって資格認定証が交付され、「最終処分場機能検査者」と称することができます。

1. 受験対象者及び受験資格

機能検査者の受験資格は、個人に与えるもので、3年以上の最終処分場に係わる実務経験(大学院、大学、高専等の廃棄物関連の研究経験も含む)を有している方がすべて受験できます。

資格種別	経験年数	対象者
・オープン型最終処分場 機能検査者	廃棄物関連業務 3年以上	① NPO・LSA (旧LS研、CS研も含む)、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、日本遮水工協会、各廃棄物関連団体(民間企業も含む)などに所属しているもの ② 現在、国都道府県市町村の廃棄物に関連する部門・機関(第三セクターを含む)に所属しているもの ③ 大学等の研究機関に所属しているもの
・被覆型最終処分場 機能検査者		
・浸出水処理施設 機能検査者		

※ 資格種別の複数受験ができます。

※ いずれかの最終処分場機能検査者の有資格者は当該資格の写しを申込書に添付してください。

2. 受験申込書類の受付期間

「認定試験のご案内(LSA-認01)」を参照してください。(締切日の消印まで有効)

簡易書留(申込者個人名)による郵送申込みまたは所定金融機関への振込みとする。

所定金融機関名：三菱UFJ銀行 田町支店

普通口座：0076350

口座名：特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会

※振込み手数料等は受験者負担です。

3. 受験手数料及び登録料

受験対象者	受験種別	受験手数料	登録料(合格後)	備考
上記1項の対象者①	1 資格	40,000円	5,000円	
	2 資格	60,000円	10,000円	
	全資格	80,000円	15,000円	
上記1項の対象者②及び③	1 資格	10,000円	免除	
	2 資格			
	全資格			

納付された受験手数料(講習受講料含む)は、返却いたしません。

登録料は合格通知を受理後、納付してください。

4. 受験申込方法

(1) 提出書類

- ① 受験申請書……同封の指定用紙(様式1)を使用のこと
- ② 受験者票 ……同封の指定用紙(様式2)を使用のこと
- ③ 実務経験証明書……同封の指定用紙(様式3)を使用のこと
- ④ 写 真……たて4.5cm×よこ3.5cmの脱帽正面、上半身を写した申請前6カ月以内の鮮明なもの1枚(背景があるものや不鮮明なものは不可)を申請書に添付のこと。
写真の裏面に、資格種別・名前・生年月日を記載のこと。
- ⑤ 受験手数料払込書のコピーを受験申請書(様式1)の貼付欄に、剥がれないよう所定箇所を糊付けしてください。

(2) 提出方法

受験関係書類一式を封筒で、簡易書留郵便により認定委員会事務局宛(受験申込書類の作成要領参照)に送ってください。二人以上の同封提出及び直接持参は固くお断りします。
なお、提出書類及び受験手数料は返却いたしません。提出にあたって、写真部を折り曲げないようにして、郵送ください。

5. 受験通知

受験通知(受験票)は、試験実施日前に事務局から本人宛に送付します。

「認定試験のご案内(LSA-認01)」に記載された送付予定日をすぎても受験票が届かない場合には、必ず事務局に問い合わせてください。連絡がない場合は欠席扱いとしますのでご了承ください。

6. 試験日時及び試験地・試験の内容

(1) 試験の日時及び試験地

資格種別	実施日	試験地
最終処分場 機能検査者	「認定試験のご案内」参照 (LSA認-01)	「認定試験のご案内」参照 (LSA認-01)

(2) 試験の内容(資格認定実施概要参照)

- ・ 共通分野の知識として、最終処分場に関する基礎的な共通問題及び論文を出題します。
- ・ 各専門分野の知識として、各専門問題及び論文の試験を出題します。
(四則計算電卓の持ち込み可能とします)

7. 合格発表

翌年1月31日付でNPO・LSAのホームページに合格者の受験番号を掲載すると同時に、事務局から本人あてに郵送通知いたします。

8. 合格認定証及び登録証の交付

所定の登録料を協会に納付された者に対して、最終処分場機能検査者の「認定証」及び「登録証」が事務局から本人宛に直接交付及び発送されます。

なお、期限までに登録料を納付されなかった場合は、合格放棄したものとみなします。